

茨城発 新事業でイノベーション創出

東京電機・諸岡

移動電源車 共同開発



開発した移動電源車には電気を供給するためのケーブル類も内蔵した

取り付け、車体と一体化したデザインを考案。同電源車の総重量は9300kg。傾斜角20度の坂道や軟弱な地面、太い木材が散乱した場所などをスムーズに走行できる。

被災地向け2社の強み融合



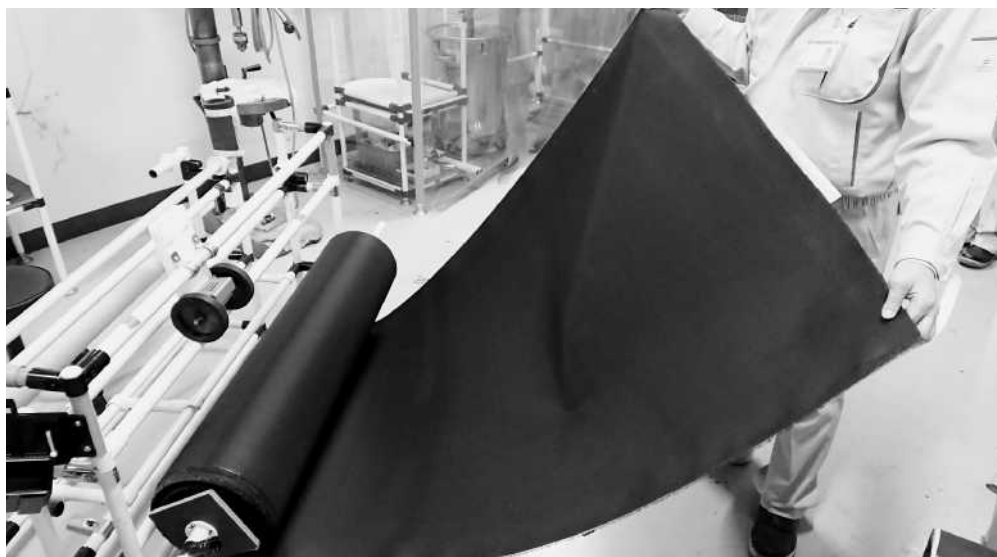
東京電機と諸岡の開発担当者で連携して2社の強みを融合した製品を創出

のケーブルやケーブルを巻き取る電動リールなどの付帯設備も搭載。付帯設備の取り付け位置などをユーザの扱いやすさを考慮して研究を重ねた

に、実証支援を受けて装置開発から営業戦略立案まで取り組んだ。メンテナンスに際しては、災害支援を学べたのは良い経験になった。諸岡の吉田顧問は「災害支援は当社の事業領域の一つ。非常用発電装置という新しい技術を学べたのは良い経験になった」と語り、東京電機の鈴木チームリーダーも「発電装置を移動させて使うことを想定して研究開発したのは初めて。新たなジャンルに進むきっかけになる」と話している。

人口減少や国内市場縮小への危機感が高まる日本経済。生き残りに向けて地域の中企業でも、独自製品の開発や企業同士の連携で新たな付加価値を創出することが求められている。茨城県の「次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業」で新事業開発に取り組んだ県内企業の事例を紹介する。

新素材「CFR」開発



耐衝撃性と柔軟性に優れた新素材CFR

製作したのがCFRだ。CFRは、一般的な炭素繊維強化プラスチック（CFRP）と同等以上の強度と軽量化がありながら、CFRPに比べて

量産技術完成、新分野に提案

成を受けた。その中で取り組んできたのが量産技術の開発だ。従来はシートを一枚ずつプレス成型していたが、新たにロボットを用いた連続式でシートを生産する「カレンダー成型」を採用。現在

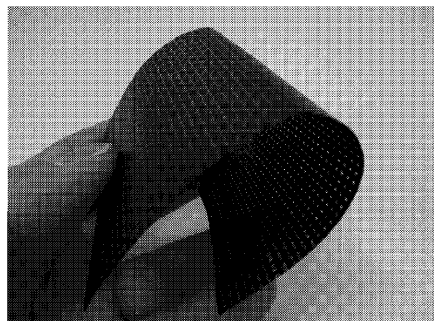


CFRシート量産化に向けて前処理工程の自動化設備を自社開発した

4分の1に低減し、現実的な価格で市場に提供できるめどが立ってきた。今後は生産設備を効率的に運用するノウハウなどを磨くことで、CFRシート1平方メートルあたり1万円程度の価格で提供することを目指す。

ハリガイ工業

ゴムと炭素繊維の複合素材「CFR」《特許登録済》

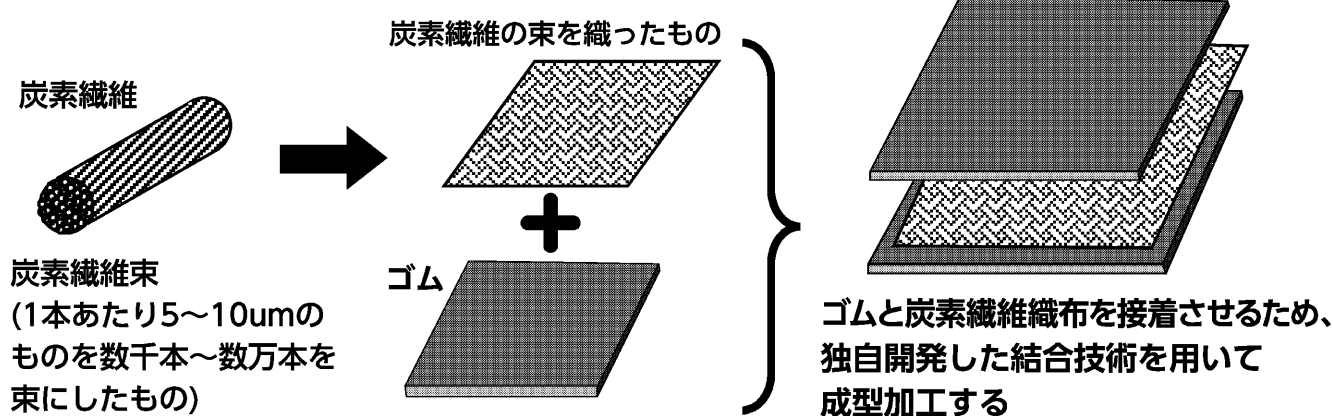


難接合材料で、これまで接着技術が確立されていなかった炭素繊維とゴムを、当社独自結合技術で強固に接着!! これまでない、新素材のゴムシート!

★主な特徴

- ・引張強度が強い
- ・高い衝撃吸収性
- ・ゴムなので他の素材と比べ軽い
- ・ゴムならではの良好な屈曲性

CFRシートの構造 (サンドイッチ構造)



HARIGAI

ホームページ: <https://www.harigai-kogyo.com/>
ゴム製品の製造/各種製品の組立・検査/CFRの製造・販売
株式会社ハリガイ工業

〒300-2521
茨城県常総市大生郷町6139-1
TEL0297-44-7333

災害停電地域に一秒でも早く電力を届ける! ゴムクローラー式移動電源車 MTRP-100



特徴

- ★高い悪路走行性を誇り災害発生翌日中には重要設備・避難設備への電力供給が可能
- ★災害停電時の仮復旧費用をゼロとし、本復旧へと即座に移行
- ★モニターを利用した遠隔操作および被災地の状況確認可能
- ★発電機に通信機能を搭載し待機中に定期的な遠隔診断を実施
- ★体育館などの避難所用電源として3φ200V・100kVAを想定 携帯電話の充電その他コンセント電源として100Vを標準装備

様々なフィールドを経験したMOROOKAのゴムクローラー車に
防災用自家発電装置専業メーカーの信頼と実績のある発電装置を搭載!



株式会社 東京電機



株式会社 諸岡

コンセプトカーご覧いただけます。
ご希望の方は担当まで

株式会社東京電機 TEL029-857-4345
開発グループ新事業推進チーム 担当者 鈴木、中根

株式会社諸岡 TEL 070-4490-1609
研究開発課 担当者 吉田、芹川